



議会 だより

No.73 2024年5月7日発行

おもな内容

令和6年第1回市議会定例会	P2～P4
└ 常任委員会審査報告	… P4～P6
└ 一般質問	… P6～P10
常任委員会調査報告	… P11～P13
令和6年第1回・2回市議会臨時会	P14
議員定数等調査特別委員会調査報告	P15
市民の声	… P16
読者の声	… P17
市議会クイズ、編集後記	… P18



「河津桜とメジロ」(長崎県立西海橋公園)

撮影: 村井 文明氏 (大瀬戸町)

本誌に写真を掲載しませんか?

表紙に掲載する写真の公募を行っています。詳しくは西海市ウェブサイトをご覧ください、議会事務局までお問合せください。

また、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き応募ができます。



こちらから応募できます

令和6年第1回議会定例会

会期: 令和6年2月29日～3月22日(23日間)

定例会の概要

第1回定例会では、議案30件

(同意1件、諮問1件含む)、発委1件、発議1件が提出されました。

各常任委員会に付託された

28議案(条例案・補正予算案・

その他議案)は各常任委員会に

おいて、慎重に審査されまし

た。(4～6ページ参照)

各常任委員会の付託内訳

総務文教常任委員会: 9件

産業建設常任委員会: 8件

厚生常任委員会: 9件

予算決算常任委員会: 2件

常任委員会終了後の本会議

では、各常任委員会委員長報

告とそれに対する質疑後、議

員から議案第29号に関して、

旧長崎オランダ村Cゾーン建

物等解体事業に要する費用を

削除する修正動議が提出さ

れ、修正動議に対する質疑

後、原案及び修正案を一括し

て討論し、起立による採決の

結果、修正案は否決され、原

案は可決されました。

その後、予算決算常任委員会発

委により「議案第29号 令和6

年度西海市一般会計予算に対す

る附帯決議」が提出され、質疑

後、討論があつたことから、起

立による採決の結果、原案のと

おり可決されました。

◎附帯決議

旧長崎オランダ村Cゾーンの建

物等解体工事に関連する予算に

ついては、解体工事に係る計画

内容が確定し、議会に説明し納

得が得られるまでは執行を停止

すること。

なお、その他の27議案は簡

易採決により原案可決となり

ました。

また、議員発議により「西

海市議会議員の定数を定める

条例の一部を改正する条例の

制定について」が提出され、

質疑後、討論があつたことか

ら、起立による採決の結果、

原案のとおり可決されまし

た。

閉会中の継続調査は、総務

文教常任委員会から「人口減

少社会における持続可能なま

ちづくり政策について」の申

出があり、決定されました。

◎簡易採決

異議の有無を確認する方法(全員

同じ意見になると思われる場合

に行つ)

◎起立採決

討論があつた場合、賛成者を起立

させることによって、多数決をと

る方法

討論の要旨

議案第29号 令和6年度西海市

一般会計予算に対する修正動議

修正案に賛成

緊急性は認められるが、解体の

も漁協と協議中であること、

加えて、解体後の利活用が確

定していないため、市民の理

解は得難いと判断し、反対す

る。

原案に賛成

本予算は、旧長

崎オランダ村Cゾーンにある

老朽化した建物等を解体し、

市の財産の適正管理を行うも

のと理解する。なお、解体に

あたつては、西彼町漁協と協

議の上、執行されることを求

め賛成する。

発委第1号 議案第29号 令和

6年度西海市一般会計予算に対

する附帯決議

反対

予算を可決していな

がら、執行停止を求めること

に理解できない。執行停止を

求めるのであれば予算を修正

すべきと判断し、反対する。

賛成

附帯決議は法的な拘

束力はないが、この決議を重

く受け止めて頂き、市民のた

め貴重な限られた財源を有効

発議第1号 西海市議会議員の

定数を定める条例の一部を改正

する条例の制定について

反対

議員定数の削減によ

り議会機能の低下が危惧され

ることから、現行の定数を維持

すべきと判断し、反対する。

賛成

人口規模等が同じ他

の市議会の状況を見ても議員定

数を削減しても十分に議会とし

ての機能が発揮できると判断で

きたことから、賛成する。

議員定数が18人から16人に改

正されます。

西海市議会では、令和4年12

月に「議員定数等調査特別委員

会」を設置し、議員報酬及び議

員定数の在り方について議論を

重ねてきました。この内、議員

定数については、令和7年5月

1日から開始する西海市議会

議員の次期任期から16人とす

る結論に至り、令和6年第1回

定例会において、「発議第1号

西海市議会議員の定数を定め

る条例の一部を改正する条例

の制定について」が提出され、

可決されました。

よって、令和7年4月に行わ

れる予定の次の「西海市議会議

令和6年第1回議会定例会で審議した案件及び結果

議案等番号	件 名	付託委員会等	議決の結果
同意第1号	西海市教育委員会委員の任命同意について	本 会 議	同 意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	本 会 議	支障なし
議案第11号	西海市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第12号	西海市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第13号	平島辺地総合整備計画の変更について	総務文教	原案可決
議案第14号	西海市出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第15号	西海市公民館の設置及び管理に関する条例及び西海市立小学校及び中学校体育施設利用条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第16号	西海市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第17号	西海市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第18号	西海市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第19号	西海市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第20号	西海市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について	厚 生	原案可決
議案第21号	西海市有墓地利用条例の一部を改正する条例の制定について	厚 生	原案可決
議案第22号	西海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	厚 生	原案可決
議案第23号	西海市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	厚 生	原案可決
議案第25号	令和5年度西海市一般会計補正予算（第6号）	予算決算	原案可決
議案第26号	令和5年度西海市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	厚 生	原案可決
議案第27号	令和5年度西海市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚 生	原案可決
議案第28号	令和5年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教	原案可決
議案第29号	令和6年度西海市一般会計予算	予算決算	原案可決
議案第30号	令和6年度西海市国民健康保険特別会計予算	厚 生	原案可決
議案第31号	令和6年度西海市後期高齢者医療特別会計予算	厚 生	原案可決
議案第32号	令和6年度西海市工業団地整備事業特別会計予算	総務文教	原案可決
議案第33号	令和6年度西海市交通船特別会計予算	総務文教	原案可決
議案第34号	令和6年度西海市介護保険特別会計予算	厚 生	原案可決
議案第35号	令和6年度西海市水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第36号	令和6年度西海市工業用水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第37号	令和6年度西海市下水道事業会計予算	産業建設	原案可決
議案第38号	工事請負変更契約の締結について（下岳地区地すべり災害復旧工事）	産業建設	原案可決
議案第39号	西海市過疎地域持続的発展計画の変更について	総務文教	原案可決
発委第1号	議案第29号 令和6年度西海市一般会計予算に対する附帯決議	本 会 議	原案可決
発議第1号	西海市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	本 会 議	原案可決

総務文教常任委員会

審査案件

条例案	4件
補正予算案	1件
当初予算案	2件
その他の議案	2件

議案第12号 西海市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

これまでと比較し、その活動や、職能を求められる機会が増加している学校薬剤師の年額報酬を7万8500円から15万7000円に増額改定するもの。

質疑

他の自治体の状況は。

【答弁】 長崎市は14万7600円、長与町は15万7000円、時津町は7万8500円という状況になっている。

議案第39号 西海市過疎地域持続的発展計画の変更について
原案可決

令和3年度に策定した計画に新たに松島診療所医師住宅等整備事業を追加し、同計画の一部を変更するため過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の規定に基づき、議会の議決を求めるもので、今回は松島診療所医師住宅を過疎債を活用し整備するものです。

【質疑】 松島診療所もかなり老朽化しているが改修しないのか。

【答弁】

松島診療所の建て替えについては、施設の複合化の検討や用地選定などに時間がかかることから、まずは優先的に医師住宅の改修を行うこととした。

診療所の整備には時間的な余裕がないことは認識しており、できるだけ早く着手できるよう、関係部署との協議を進めていく。



産業建設常任委員会

審査案件数

条例案	4件
当初予算案	3件
その他の議案	1件

議案第16号 西海市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

西海市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定については、本条例の根拠法の名称が、漁港漁場整備法から、漁港及び漁場の整備等に関する法律に変更されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

【質疑】 国では「海業」が進められているが、相重なる内容か。

【答弁】 本件は、海業に関する漁港活用の推進を目的とした改正である。今まで漁業を主体として、漁港の整備が行われてきたが、漁村の人口減少が進み、担い手不足等々の課題が山積する中、漁業を今後活性化させていくためには、水産庁が主導する海業を推進していく方針で現在取り組んでいるところである。

例えば全国各地の先進的に取り組まれているところでは、水産直売所等を設置するとか、海をテーマとした観光を体験、もしくは遊覧船によるクルーズなど、そういったものを積極的に取り入れて、漁村と都市の

交流人口を増やしていく中で、漁村を活性化していくというような目的がある。

■ 改正案のイメージ

漁港施設等活用事業の創設と漁港施設の見直しにより、水産物の消費増進と水産物の生産力強化を図る。



水産庁「漁港漁場整備法改定の考え方」の資料抜粋

◎ 海業

水産、観光、飲食業など海に係る地域資源を生かす産業のこと。



厚生常任委員会

審査件数

条例案	4件
補正予算案	2件
当初予算案	3件

議案第20号 西海市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

不納欠損処理は、徴収停止の措置後、一定の期間を経過してもなお納付の見込みのない債権や、時効により徴収できない債権を放棄する債権管理の事務処理であり、市は債権管理により徴収停止や時効の完成を未然に防ぐことに努めていくことから、不納欠損額の見込みの把握は、努めるものではなく把握しているべきものであり、条例により改めて定めることではないため、関係条文を削除するとともに督促手数料等の徴収の廃止及び債権の放棄要件の追加など、市の債権を適正に管理するため所要の改正を行うもの。

議案第21号 西海市有墓地利用条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

新たに3箇所の墓地を市有墓地とするなど、法律に則した管理の適正化を図るもの。

議案第23号 西海市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
原案可決

介護保険法施行令及び西海市介護保険事業計画の見直しに伴い、保健福祉事業の拡充及び第1号被保険者にかかる所得段階の追加・保険料率の改定等について、所要の改正を行うもの。

議案第26号 令和5年度西海市民健康保険特別会計補正予算（第3号）
原案可決

既存予算に7296万9000円を追加し、総額4億1589万5000円とするもの。

議案第27号 西海市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
原案可決

既存予算から347万3000円を減額し、総額4億924万5000円とするもの。



予算決算常任委員会

審査案件

補正予算案	1件
当初予算案	1件

議案第25号 令和5年度西海市一般会計補正予算（第6号）について
原案可決

既存の予算に、3億4319万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を244億6163万9000円とするもの。

質疑 「チャレンジ水産経営応援事業補助金」の減額の理由は。

答弁 新たなチャレンジ水産経営応援事業は県の補助金で意欲ある漁業者が取り組む漁業の創業、設備等整備に対して支援する事業で、水産機関連事業3件、創業支援事業26件の実施実績により残額を減額するもの。

議案第29号 令和6年度西海市一般会計予算について
原案可決

歳入歳出予算の総額を218億7650万8000円とするもの。

なお、質疑後、委員から、旧長崎オランダ村Cゾーン建物等解体事業に要する費用を削除する修正案が提出されましたが、討論、起立採決の結果、否決され、原案が可決されました。その後、委員10名から附

帯決議が提出され、討論、起立採決の結果、可決されました。

〔歳入〕

質疑 入湯税の62万8000円について人数換算した際の西彼保健福祉センター利用者数と利用者を増やすための計画はあるのか。

答弁 利用者数は3万1428人で計上している。利用者増の具体的な施策案はないが、今後検討していきたい。

〔歳出〕

質疑 松島架橋早期建設推進補助金は55万円と従来予算と同額の計上であるが、さらに拡充すべきではないか。

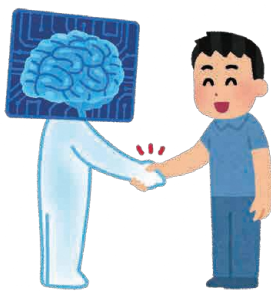
答弁 事業推進に必要な長崎県への要望を毎年継続しているが、以前より費用対効果の検証を求められている。

まずは、県に松島架橋の必要性を理解していただくということが重要と考えているので、今後の社会情勢のタイミングを見極めながら、効果的な推進活動を行ってきたい。



質疑 生成AIによる生産向上業務について具体的な内容と生産性向上の見込みについて伺う。

答弁 正規職員を対象にChatGPTを活用し、業務に即した文書生成やアイデア出しに活用したい。また、セキュリティ面を重要視し、LGWAN（行政ネットワーク）環境の中で活用したい。生産性の向上として、職員の時給2000円と勘案し、年間1200万ほどの削減を目指している。



質疑 地域おこし協力隊6名の活動場所や活動内容について。

答弁 現役隊員は3名おり、それぞれHOGETでの民泊推進、農林緑推進課での木の駅プロジェクトなどの森林推進、雪浦地区での地域活性化に携わっている。他3名は、音浴博物館館長候補として1名、観光体験の推進に2名の隊員を募集予定である。

質疑 路線バス補助金が約800万円増え、8890万7000円が計上されているが、その内容を伺う。

答弁 令和5年10月から令和6

年9月までに運行したものに對して補助金を出すものである。さいかい交通への補助金増額の要因として、人件費の高騰がある。過去には国や県から補助される路線が多かったが、利用客減少に伴い、補助の対象から外れ、市に負担が来ている状況である。また路線については、減便のダイヤ改正になると聞いている。

質疑 オランダ村Cゾーン解体の緊急性と活用計画について伺う。

答弁 自然倒壊もありうる非常に危険な状態を放置することはできず、また、漁協からも強い要望を受けているため、まずは解体を行うものである。

質疑 ぎゅぎゅつと西海フェスの減額理由は。

答弁 テントの設置費用等が高騰していることから、屋内での開催など本来の目的である西海市のブランド品目のPRを進めるため、実施方法の見直しを行うものである。

質疑 もう少し予算をつけて、すばらしいイベントだったと、市民が喜ぶような形を取るべきじゃないか。

答弁 厳しい財政状況の中、職員、各部署には見直しを求めている。その中で少しでも政策効果を見極めながら効率的な運営又予算の執行ができないか検討している。



今定例会で一般質問した議員は7人でした。

一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。スマートフォンなどで読み取ると当日の動画映像がご覧になります。

一般質問とは？

市議会議員が市に対して、事務の執行状況や今後の政策など、みなさんの生活にも関わる市の行財政全般について、疑問点を質したり、所信の表明を求めたりするものです。

西海市では一人60分（答弁、再質問を含む）の

持ち時間制となっています。



一般質問は、「通告制」となっており、議長が定めた期間内に議長に質問の要旨などを文書で通告します。

質問範囲が多岐にわたることから、質問する議員も受ける執行機関も十分な準備期間を設け、充実した政策論議を行うためです。

順番・氏名

質 問 事 項

1.
打田 清
志政会

・防災・災害対策について
・観光施設「七ツ釜鍾乳洞公園」一帯の
整備計画について

2.
荒木 吉登
創生会

・IT教育社会による子供の視力低下について
・有機肥料の活用について
・緊急災害時の対応について

3.
平井 満洋
杏粒会

・長崎オランダ村について
・建設工事について
・観光地づくりにについて
・旧長崎オランダ村Cゾーンについて
・市長が掲げた政策課題の総括について

4.
田川 正毅
志政会

・松島火力発電所が実施する
「GENESIS松島計画」について
・江島沖洋上風力発電事業について
・西海市の医療体制について

5.
瀧瀬 栄子
西海市議会
日本共産党

・家庭ごみの収集について
・第9期介護保険事業計画における
第1号被保険者の介護保険料について
・国民健康保険税について
・特別支援学校小中学部分教室の開校に向けて

順番・氏名

質 問 事 項

6.
小嶋 俊樹
創生会

・江島沖洋上風力発電事業について
・島の暮らし支援室の事業について

7.
戸浦 善彦
眞瀾の風

・未来のまちづくりについて
・幼児教育について



防災・災害対策について

問 災害発生時の初動における連絡体制や協力関係について伺う。

市長 毎年5月下旬に自衛隊・警察・消防など関係機関、各地区行政区長会会長などで防災会議を開催し、関係機関それぞれの立場から災害時における対応について、連絡体制や協力体制を確認し、地域防災の向上を図っている。

問 避難情報の周知体制や災害弱者が避難行動を果たすための支援体制はどのように図られているか伺う。

市長 防災行政無線の更新を行い、難聴地区には難聴対応の災害防災行政無線を整備した。避難行動は初動時が大事であるため、自主防災組織の皆さんに災害弱者である要配慮者に対する避難誘導など取組をお願いしている。また、「自主防災組織事前行動マニュアル」及び「台風等にかかる自主防災組織等行動タイムライン」をあわせて一昨年に配布し、避難行動の支援に努めている。

問 令和9年度の運用開始が予定されている防災食育施設の整備計画



志政会
うちだ 打田

きよし 清



は順調に進捗しているか伺う。

市長 事業の実施に必要な「防災まちづくり構想」の策定を3箇年かけて進めている。進捗状況は、当初の計画どおり令和3年度に基本構想、令和4年度に基本計画を策定し、令和5年度に詳細な平面図や配置図を記して建築計画、また電気・機械設備や厨房設備の整備計画などを定める実施計画を策定中である。



観光施設「七ツ釜鍾乳洞公園」一帯の整備計画について

問 現時点の計画と将来の展望を伺う。

市長 令和6年度に道路側に面する5つの建物や浄化槽等の解体をし、その後は計画的な残存建物の解体に向けて検討する。将来の展望については、解体予定地区が国指定の保護区に含まれることや、当該区域が県の土砂災害警戒区域に指定されていることを踏まえ、地元の方々のご意見を伺いながら整備を図っていく。



創生会
あらき よしと
荒木 吉登

IT教育による子供の視力低下について

問 子供自らが目の健康について学び、実践することに関する現状の取組状況と今後の対策を伺う。

教育長 児童生徒が自ら目の健康を重要と考え日常的に実践できるようにしていくことが最も重要な働きかけと認識している。各学校では、年間を通じて様々な保健指導を学校保健計画に位置付け、目の健康を考える集会を実施し、校内放送や講話によって理解を深めている。また、目の健康の重要性の啓発と、目の健康を守る取組を充実させ、視力低下を防ぐ対策や予防的な対策を継続していく。

有機肥料の活用について

問 家畜農家から出る糞尿を地域資源と捉え、堆肥化処理の促進と有



機肥料の使用を推進する取組を行い、化成肥料等の使用量の50%削減を目指し、持続可能な農業体制を展開すべきと思うが考えを伺う。

市長 県の基本計画にも掲げている特別栽培面積の拡大に向けた取組において、畜産堆肥を本市の地域資源と捉え、関係機関と連携しながら供給拡大と耕種農家の使用拡大による施肥コストの縮減や化学肥料の低減など、農業者の負担軽減や環境への影響に配慮した持続可能な農業体系の確立を目指す。

緊急災害時の対応について

問 西海市地域防災計画において、自主防災組織の育成がうたわれているが、災害時には混乱して当該組織が十分に機能を果たせないことも予想される。災害時に円滑に助け合いできるように、日常から地域での互助の取組について備えることが必要であり、各地区の実情に合った防災マニュアルの作成や訓練の促進が必要と思うが考えを伺う。

市長 一昨年に、自主防災組織事前マニュアルを作成し各自主防災組織へ配布をしており、自主防災組織に総合防災訓練への参加を呼び掛けるとともに、防災意識の高揚を図っていく。今後は、各組織の活動内容やニーズの把握に努め活動の幅が広がるような支援について検討していく。



会
ひらい みつひろ
平井 満洋

長崎オランダ村について

問 裁判の進捗状況について伺う。

市長 現在、弁論準備手続を通して争点や証拠の整理が行われているが、口頭弁論と違い、弁論準備手続が原則非公開で行われる事を踏まえ、現時点で具体的な審理内容に関する答弁は控える。

観光地づくりについて

問 第2次西海市まち・ひと・しごと総合戦略に、収益力のある観光地づくりを掲げているが、実際にどのような事を行っているのか伺う。

市長 観光消費の拡大を図るため旅行者のニーズに即した観光施設や宿泊施設の改善、来訪者の消費を促す収益事業の強化等に取り組むこととしている。イベント開催時における観光客の周遊促進を目的とした取組で、さいかい井フェア期間中に合わせ、SNSにより観光スポットやカフェ、直売所などの周遊コースの

紹介を行い、さいかい井を食べる目的に加え、さらにもう一箇所、もう二箇所と足を運んでももらえるような取組である。

旧長崎オランダ村Cゾーンについて

問 海上ウッドデッキ等の解体に約1億5000万円の費用を令和6年度の予算に計上することに市民の理解は得られると思うのか伺う。

市長 ウッドデッキの腐食による海域への流出や木造建築物がシロアリ被害等により倒壊しつつある現状を踏まえると、施設の適正管理と海域への流出防止の観点から早急に実施すべきである。

平井 それでは市民の理解は得られないと思う。





志政会
たがわ まさき
田川 正毅

GENESIS 松島計画について

問 2024年に工事着工予定が2026年に変更されたが、その理由と今後の計画について伺う。

市長 変更の理由は、昨今のインフレに伴う資材価格上昇などの課題対応のために、設備設計に係る計画期間が2年程度遅延するとの説明を受けている。今後の計画については、国に対する環境影響評価の手続きにおける『準備書』提出に向けて検討を進め、2026年の工事開始を目指しているとの説明を受けている。

問 市内事業者に対してビジネスチャンスの説明・働きかけの実施状況を伺う。

市長 土木建設業・宿泊、飲食、小売り業等に対し、意見交換会や事業概要説明会を開催したい。

江島沖洋上風力発電について

問 江島沖洋上発電事業については、住友商事株式会社と東京電力リニューアブルパワー株式会社を構成員とする、みらいえのしまコンソ

ーシアムを洋上風力発電事業者として選定したと発表されたが、今後市が果たすべき役割について伺う。

市長 発電事業者と地元企業とのパートナーシップの促進。洋上風力発電事業に海域の占有を30年間許可する長期的な事業であり、工程としては設備建設による土木工事・電気工事、航行安全対策や海上輸送作業、風車の保守メンテナンスなどに対し地元企業の新たな事業参画の機会になることを期待する。

救急クリニック事業について

問 開設場所や診療科目について

市長 令和7年1月頃、西海町木場郷の西海スポーツガーデン隣接地にて開業予定である。診療科目は救急科・内科・外科・整形外科・小児科・脳神経外科・循環器科・リハビリテーション科を予定している。最終的な情報を基に広報紙やウェブサイトを通じてお知らせする。



西海市に開業を予定している
松岡救急クリニック本院(南九州市)



西海市議会
日本共産党
あいち えいこ
洲瀬 栄子

ごみ出し困難者への戸別収集を

問 戸別訪問によるごみ収集及び収集の際の安否確認等の実施について具体的進捗状況と実施時期を伺う。

市長 介護保険や障害福祉サービスによる支援があるが、ごみ出しが困難な高齢者など公的な支援が受けられていない人の現状把握は難しい支援の在り方について関係機関と連携し一定整理していきたい。

問 高齢者等世帯に対するごみ出し支援を算定し、所要額の5割を措置する特別交付税を活用して一日も早い取組をすべきではないか。

市民環境部長 事業者と協議し令和7年度をめどに考えているが、できる部分は先にやっていきたい。

問 訪問介護サービスによるヘルパーや市外の親族による支援を受ける際に、指定日の早朝ごみ出しがない場合がある。愛知県田原市のようにに専用袋を作成して支援者がスムーズに出せるようにしてはどうか。

市民環境部長 ヘルパーの方々から時間が合わないとの声は把握している。対象者を絞ってシールを配る

ことはすぐできると判断している。全体的には令和7年度をめどに整理したい。



西海市議会日本共産党
洲瀬 栄子 議員

愛知県田原市の専用ごみ袋

資源物回収の立会い当番について

問 拠点回収に立会うことが住民にとって負担になっているとの声が寄せられている。自治会から話しを聞くと、立会い形式は様々であり、立会いを必要としないところもある。そこで平日早朝の立会い当番について伺う。

市長 一部の地域では、分別が浸透したとして立会いを置かない地域もあるが、市としては、市民の資源物リサイクル及びごみ減量意識高揚のため、引き続き協力をお願いしている。今後も立会い当番の人数や時間の見直し、搬入時間の拡大など、現状に即した体制を各自治会で検討して引き続きご協力ご支援を賜りたい。

江島沖洋上発電事業について

問 新産業推進課と担当省庁が今後、担う役割分担とスケジュールは、どうなっているか。

市長 新産業推進課は、地域住民や漁業関係者の信頼関係の構築に努める。また、担当省庁は発電設備の設置や運用に当たり、必要な許認可や調整を行い、事業計画全体の進捗管理を行う。

問 事業推進地域を含めた市全体への地元貢献を働きかける考えはないか。

市長 地域振興や漁業振興策、電力の地産地消等具体的な検討を進め、引き続き働きかけを行う。

問 工事着工時及び運用時における地域住民の安心安全対策はどうなっているか。

市長 発電事業者と連携し、工事や運用に関する十分な配慮と情報を速やかに地域の住民へ提供し、地域の理解を得るよう努める。

問 市長の今後のビジョンはどうなっているか。



創生会
こじま としき
小嶋 俊樹

市長 電力の地産地消という新たな仕組みを構築したい。また、全国に先駆けた洋上風力と地域との共存共栄と脱炭素へ向かう地域の成功事例の一つとなるように取り組む。



島の暮らし支援室の事業について

問 各島への具体的支援策はどうなっているか。

市長 有人国境離島法により、江島・平島においては航路運賃の助成、水産物の島外への輸送コスト支援を行っている。また、松島においては市営船「New松島」の運航管理や松島架橋早期建設期成会による架橋推進などを行っている。

問 事業の評価と課題、今後の支援策の計画はどうなっているか。

市長 公共交通事業や物資輸送支援については、島民が安心して末永く住み続けるための日常生活に直結した施策であり、一定の成果に結びついていると評価している。本市の3離島は、高齢化及び人口減少が顕著であり、日常生活の維持が大きな課題である。今後は、小規模離島への配慮がされるような支援に努めていきたい。

未来のまちづくりについて

問 ビヨンドコロナを見据え、西海市の未来の為に、住民参画が不可欠であると考えます。直接市長が地域住民や各種団体と膝を突き合わせて、西海市の未来をテーマにしたワークショップを開催したり、直接対話をする事で、みんなで共に西海市の未来を育てるという意識が醸成され、人の動きが活発になり経済も循環する西海市の未来につながると考えるが、市の見解を伺う。

市長 多くの市民の参画と協力は欠かすことのできない大変重要なことと認識している。

問 地域は様々な課題を抱えている中で、市長が地域に向き、住民の皆さんへ主要施策を説明するとともに直接住民から行政に関するご意見や、考えを聞くという姿勢は地域住民に安心感と希望を与えるものであると考える。そこで、新型コロナウイルス感染症の流行等により中断されている市政懇談会を再開すべきと考えるが、市の見解を伺う。



眞凧の風
とら よしひこ
戸浦 善彦

市長 市政懇談会については、市の各種事業の報告及び施政方針の説明並びにそれに対する意見等を市民から直接聴く機会として有意義であると思っている。



田中前市長時に開催された市政懇談会
(2013年西彼会場)

問 (住民の声) 「カーボンニュートラル、CO₂がゼロになるわけではない。それに税金を使っておかしい！」その声に対し市長自らが出向いて、「西海市はこうだからやります」というのを市長自らが話して欲しい。ぜひ、市政懇談会をやってほしいと思う。

市長 カーボンニュートラルは何かとか、それに税金をなぜ使うのかという、その考え方がおかしい。必ず新産業の創造、産業構築に寄与していくものと絶対の確信がある。西海市がやれることは微々たるものではあるが、これからできる限り自分も中心となって出ていきたい。



総務文教常任委員会調査報告



不登校児童生徒の現状について調査!!

テーマ

不登校対策について

調査日

①西海市

令和5年7月20日(木)

令和5年10月3日(火)

委員会室

令和6年1月24日(水)

西海市適応指導教室とまご教室

②大村市

令和5年10月31日(火)

大村市学校適応指導教室

③京都市

令和5年11月2日(木)

京都市立洛風中学校

経過

令和5年第2回定例会の一般質問において各議員が不登校及び適応指導教室について質問を行ったことにより、まず、本市の不登校について調査を行い、その後県内外についての調査を行った。

調査概要

現在、日本における不登校の児童生徒数は依然として高水準にある。文部科学省の調査によれば、令和4年度の不登校児童生徒の数は29万9048人(前年度24万4940人)であり、前年度から5万4108人増加し、過去最多となった。

大村市の適応指導教室「あおば教室」では、学校へ行くことができない児童生徒を対象に、生活

指導や集団適応指導並びに学ぶことへの意欲づくり等の活動を通して、社会自立を促すとともに学校復帰に向けての支援を行っており、目標として、通級を通して生活時間を一定にし、生活のリズムを取り戻すことを目標の一つに挙げている。

また、京都市立洛風中学校は、不登校が全国的な課題になる中国の構造改革特区制度を活用し、不登校を経験した子どもたちの学校として、全国に先駆けて設立された学校で、一般校では文部科学省の学習指導要領で、年間総授業時数を1015単位時間で設定されているところ当校では生徒が無理なく学習できるように年間総授業数は770単位時間で設定している。当校では、朝生徒が登校したら一人ひとり担任が面談を行い、生徒から心身の調子や日頃の出来事などを聞くことで精神的に安定させて教室に送り出している。

まとめ

この調査において、不登校問題についてより深刻さが感じられた。この調査から不登校の要因は人間関係の悩みや家庭環境の問題など様々なものが起因しており、多様かつ複合的であるとうかがえた。

不登校児童生徒が学校復帰す

るためには復帰しやすい環境を整備することが必要である。また、学校側の支援だけではなく、家族が協力し、子どもと向き合うことも大切だと感じた。

不登校児童生徒が学校に復帰したケースはあるが、一方で復帰できず成人を迎え、社会復帰できず引きこもりに陥るケースがある。今後増加する見込みがあると考えられるのでさらなる対策が必要と思われる。

本市においても不登校児童生徒が増加する可能性は否めない。本市の適応指導教室においては充実した教室の展開が必要である。「多様性のある対策」を含め建設的に取り組み、また、適応教室指導員の確保、教室の増設及び教室のスペースの拡充を検討していただくよう望む。

※適応指導教室の呼称は、1月から教育支援センターに変更しています。



大村市学校適応指導教室への調査の様子



京都市立洛風中学校への調査の様子





産業建設常任委員会調査報告



地域住民が主体となった観光事業を調査!!

テーマ

地域住民が主体となった課題解決型観光事業の取組について

調査日

令和5年11月9日(木)
神奈川県大井町

経過

神奈川県大井町では、地域住民が主体となり、地域の課題解決型の観光事業を実践しており、本市の観光政策の参考とするため、大井町地域振興課から当該事業の説明を受け、調査を行った。

調査概要

大井町では平成30年度に「一般社団法人 神奈川大井の里体験観光協会」を設立し、みかんの摘果や総もぎ、竹林整備など地元の困りごとを解決する体験プログラムを提供し、参加者から得られる体験料を地域住民に還元させ、地域活性化を図っている。当該法人は修学旅行の誘致など体験事業の営業を行い、実際に体験プログラムを企画・運営しているのは、地元の自然体験指導者である。なお、自然体験指導者の育成については市が行っている。

まとめ

大井町では地域住民主導の観



神奈川県大井町への調査の様子

光事業で地域の活性化を実現し、観光産業開発だけでなく地域自体の活性化にもつながっているため、非常に価値のある取組だと感じている。

本市には農業、林業、漁業など、大井町以上に多様なフィールドが存在し、各専門性を活かした連携で観光活動に取り組めば、大井町以上の地域づくりの可能性がある。

この実現には、地元住民の主体性と観光事業への参加意欲を引き出す体制づくりへの支援が必要である。

また、今後は修学旅行の誘致に向け、旅行会社や宿泊業者と連携した体験型観光事業への推進についても検討してほしい。

タイニーハウスの可能性を探る!!

テーマ

山梨県小菅村におけるタイニーハウスの取組について

調査日

令和5年11月9日(木)
山梨県小菅村

経過

本市では、林業政策の一環として、市内産木材活用のためにタイニーハウスの普及を目指しており、先進事例の取組を参考とするため、山梨県小菅村にて調査を行った。

調査概要

小菅村では、移住推進のために「タイニーハウスデザインコンテスト」を行い、最優秀作品を実際に建築した。この取組により、村の知名度向上及び住宅供給と林業活性化など多面的な効果がもたらされた。加えて、小菅村が運営する分散型古民家ホテルにより田舎暮らしの体験環境が提供されている。

まとめ

本市もタイニーハウス事業を始めているが、乾燥施設不足や市内での木材消費スキームに課題を抱えている。小菅村の取組を参考とすることで、タイニーハウスによる地域振興の活路を見

出すことができた。本市の実情を踏まえるとタイニーハウスを地域交流拠点や移住体験施設に活用することが適していると感じた。一方、タイニーハウスの組み立てキット販売については、ニーズや価格設定の更なる調査が必要であると考えている。本市では昨年度から3箇年かけ、タイニーハウスデザインコンテストを実施することから、多面的な使われ方について、検討されるであろう。まずは、その取組に注力し、本市の林業活性化に資することを大いに期待する。



山梨県小菅村にてタイニーハウス調査の様子





厚生常任委員会調査報告



西海市に適したごみ処理施設を探る!!

テーマ

廃棄物処理施設の今後の整備に向けた先進事例の取組みについて（ごみ処理施設）

調査日

令和5年11月7日（火）
広島県庄原市

経過

本委員会は、西海市炭化センターの運営期間が令和12年3月31日までとなっていることから、次期廃棄物処理施設の整備に向け先進地の取組み事例を参考とするため、調査を行った。

調査概要

庄原市では、旧廃棄物処理施設の老朽化や2つの異なる施設の稼働に伴う維持管理費の増加、施設立地自治会との設置協定期限の問題などから、新施設整備が急務となっていた。それらの課題を解消するため、施設を集約し、財政負担の軽減と適正な廃棄物処理の推進、処理効率の向上を図るために、庄原市備北クリーンセンターを総事業費42億9000万円で整備した。同施設はエネルギー回収型廃棄物処理施設で、準連続燃焼式のストローカ炉を運用し、日量34トン（17トンの2炉）の廃棄物処理が可能。厳格な公害防止基準を設



広島県庄原市への調査の様子

まとめ

今回視察した庄原市備北クリーンセンターの施設運営費は本市炭化センターの3分の1程度と安価で、災害ごみの家屋解体材にも対応が可能であることを確認したが、二酸化炭素排出抑制には期待できないオーソドックスな施設と感じた。次期廃棄物処理施設の整備に向けては、地元自治会の同意や地域振興策、二酸化炭素排出抑制と廃棄物削減、そして処理費用や整備費用の効率化が求められることから、これらを念頭に置き早期の施設整備に取組む必要がある。

用地選定の重要性を再確認

テーマ

廃棄物処理施設の今後の整備に向けた先進事例の取組みについて（最終処分場）

調査日

令和5年11月8日（水）
岡山県西部衛生施設組合

経過

西海市大瀬戸最終処分場の埋立期間が令和12年3月31日までとなっており、現在、次期最終処分場の適正選定作業に着手していることから、次期最終処分場の整備に向け先進地の取組み事例を参考とするため、調査を行った。

調査概要

岡山県西部衛生施設組合は、県内の3市2町、人口約14万人で構成している。同組合の井笠広域一般廃棄物埋立処分場は、総事業費約32億1051万円で整備され、準好気性埋立て構造を持つ施設で、埋立面積は1万2800平米、埋立容量は約10万4600立方メートル、埋立期間は15年間。処分対象は灰や破碎残渣で、飛散防止や悪臭対策としてサンドイッチ方式を採用、散水設備を使い飛散防止を図っている。また、浸出水の発



岡山県西部衛生施設組合への調査の様子

まとめ

今回視察した井笠広域一般廃棄物埋立処分場は、大瀬戸最終処分場と同様の構造と方法を持つ。用地選定に時間を要した経緯を聞くと用地選定が重要であると感じた。本市では令和5年度に適地を選定し、最終候補地を決定する予定であることから、適地確定時には、地域の意見等に真摯に耳を傾けつつ、立地自治会等に対して懇切丁寧な説明を行い、計画どおりに事業が進行することを期待する。

令和6年 第1回議会臨時会

会期 令和6年1月22日
(1日間)

臨時会の概要

第1回臨時会では、議案10件（報告1件含む）が提出されました。

議案第1号は、大島地区工場団地を企業の立地に資するべく売却するもので、議案第3号は、令和2年末をもって遊休施設となっていた旧西海市崎戸温水プール施設を有効活用することで市内の産業振興に資するため無償譲渡するものです。

また、議案第7号は、プレミアム付商品券発行支援事業や水道料金の減免期間の延長分など、7億4270万2千円を追加する補正予算を計上するものです。

各常任委員会に付託された9議案（条例案・補正予算案・その他議案）は各常任委員会において、慎重に審査され、各常任委員会終了後の本会議において、全て原案可決されました。

〈令和6年第1回臨時会で審議した案件及び結果〉

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
報告第1号	西海市多目的船舶の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについての専決処分の報告について	本会議	報告済み
議案第1号	財産の処分について	総務文教	原案可決
議案第2号	教育総務課マイクロバスの事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	総務文教	原案可決
議案第3号	財産の無償譲渡について	総務文教	原案可決
議案第4号	工事請負変更契約の締結について（下岳地区地すべり災害復旧工事）	産業建設	原案可決
議案第5号	西海市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決
議案第6号	西海総合支所公用車の事故に係る損害賠償の額を定め、和解することについて	厚生	原案可決
議案第7号	令和5年度西海市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	原案可決
議案第8号	令和5年度西海市工業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教	原案可決
議案第9号	令和5年度西海市水道事業会計補正予算（第4号）	産業建設	原案可決

令和6年 第2回議会臨時会

会期 令和6年2月16日（1日間）

臨時会の概要

第2回臨時会では、1議案が提出され、下記のとおり結果となりました。

議案第10号は、令和5年第2回定例会で可決された「西海市立認定こども園条例を廃止する条例」の附則に規定している施行時期に係る規定を改正し、市立認定こども園の廃止時期を変更するもので、公私連携法人の候補法人が令和6年4月1日から公私連携幼保連携型認定こども園への移行に向けた準備を進めていたところ、現行規模での運営に必要な職員を確保できないことが明らかになったことから、当面の間、市立認定こども園のままで運営を継続する事態となったもので、当該議案については、厚生常任委員会に付託され、委員会の審査を経て、本会議において原案可決されました。

議案第10号 西海市立認定こども園条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定について

原案可決

質疑 今後も公私連携幼保連携型認定こども園への移行方針は変えず、3年以内に新たな候補者を見つけたことだが、どのようなスケジュールになるのか。

答弁 まずは、さきの選定の結果、第2順位となっている候補法人の意向を改めて確認する予定である。

〈令和6年第2回臨時会で審議した案件及び結果〉

議案番号	件名	付託委員会等	議決の結果
議案第10号	西海市立認定こども園条例を廃止する条例の一部を改正する条例の制定について	厚生	原案可決



議員定数等調査特別委員会調査報告



～令和6年第1回定例会初日（2月29日）に報告書を提出しました～

議員定数

本市が直面している人口減少や、県下及び県外の市で、既に議員定数の削減が進行している状況を鑑みると、議員定数の削減は回避できない問題であること、また、市民アンケートにおいても、議員定数の削減を求める意見が多く見られたことで、15人または16人に削減するという二つの意見が出されましたが、更に協議を重ね、今後も議員定数の削減を視野に入れた見直しの可能性があることを考慮し、議員定数は、令和7年5月1日から開始する西海市議会議員の次期任期から16人とする結論に至りました。

議員定数等調査特別委員会は、将来の議員として立つ若い人たちの環境整備、延いては西海市議会の活性化のため、議員定数及び議員報酬の在り方に関する必要な事項の調査を目的とし、令和4年第4回定例会において、7名の委員をもつて設置されました。

本委員会では、令和7年に市議会議員の改選が予定されていることから、令和5年12月までに結論を出すことを目指し、限られた時間の中、10回にわたり集中的に議論を重ねた結果、以下の結論に至りました。

なお、議員報酬については、市長の諮問機関である特別職報酬等審議会において審議され議案に提案されるのが一般的であることから、令和6年3月22日に市長に提言しました。

議員報酬

将来の議員候補となるであろう若い世代の環境整備と資質ある人材の立候補を促し、なり手不足や無投票選挙を防ぐため、また議員一人ひとりの資質と議員力の更なる向上を図るために議員報酬の増額は不可避であるとの方向で議論を重ねました。

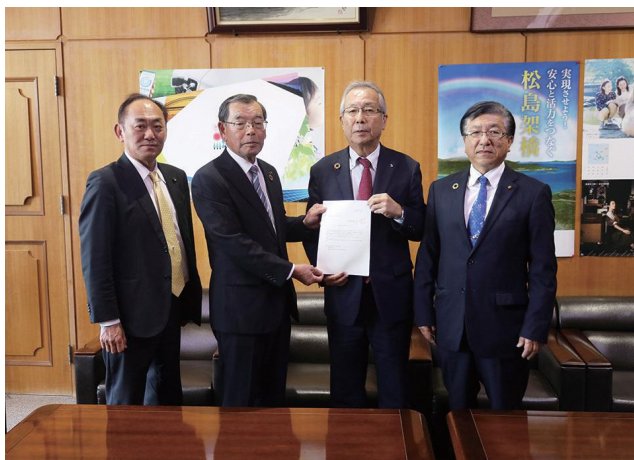
その金額については、他市や類似団体との比較、市職員の給与との比較、原価方式による値等により検討を行った結果、議員報酬は、令和7年4月30日任期満了に伴う西海市議会議員一般選挙後から38万円とする結論に至りました。

なお、増額改定により、今後、議会費の増額が見込まれますが、平成17年の合併後から議員定数を26人から18人へと削減してきた一方、議員報酬の改定が見送られたままの定数削減であったことは考慮されるべきものであり、この背景を考慮すれば、一定の議会費の増額はやむを得ないと判断しました。

※議員定数等調査特別委員会報告書は、左記に全文を掲載しております。



↑
こちらの二次元バーコードを読み取ると、スマートフォンからご覧いただけます。



杉澤市長へ提言書を提出する
宮本議長、朝長副議長、荒木議員定数等調査特別副委員長

◆議員定数について

令和7年5月1日から開始する西海市議会議員の次期任期から16人とする。

◆議員報酬の改定について

・議長	月額	459,000円
・副議長	月額	399,000円
・議会運営委員長	月額	385,000円
・常任委員長	月額	385,000円
・議員	月額	380,000円

※令和7年4月30日任期満了に伴う、西海市議会議員一般選挙後からの適用とする。

※上記の議員報酬の改定額は、議員定数等調査特別委員会において、出された結果であり、議員報酬額の改正は、市長が西海市特別職報酬等審議会の意見を聞いて、議会に提出されます。



方言 大好き

西海市立雪浦小学校 6年

坪川 結喜乃（つばかわ ゆきの）
湯川 歌海（ゆがわ うみ）



雪浦小学校には、私たちを応援してくれる「つがねの会」という会があり、地域の皆さんが私たちのためにいろいろな活動をしてくださっています。例えば、ハンドベル、ケーナなどいろいろな楽器の生の演奏に触れることができるように、年に数回開催してくださる「ロビーコンサート」もその一つで、私たちはいつも楽しみにしています。つがねの会の活動の中でも、特に私たちが楽しみにしているのは、年に一度、披露してくださる「雪浦の方言劇」です。昔から伝わる雪浦の方言を私たちにもっと知ってほしくて、このような方言劇をしてくださるのだと思います。私たちは、「雪

浦の言葉だから、聞いたら意味はわかるだろう」と思っていました。が、地域の方が話す方言は思っていたよりわからない言葉ばかりで、少しびつくりしました。でも、方言で話をされるととてもみんな楽しそうで、私たちも使ってみたくまりました。

昨年、総合的な学習の時間に「ふるさと雪浦」について調べることになり、私たちのグループは「方言」をテーマに選びました。調べてみると、初めて知った方言もあるけれど、方言と知らずに話しているものもたくさんあることが分かりました。また、方言を使って話すと、落ち着いて会話ができるし、気持ちや考えが自然に伝えられることも気が付きました。方言って、心と心をつなぐすごい言葉だと思います。

雪浦地区で恒例となっている「雪浦ウィーク」は、「雪浦にくさんの人たちに来てほしい」という地域の方々の願いから始まり、今年で二十五回目を迎えています。ここでも出店の人とお客さんが方言で楽しそうに会話をしている様子を見て、方言だと初対面の人でもお互いに親しみを感じられていいなと思いま

した。

私たちは、地域の方々ともつと交流し、方言を教えてもらいたいのです。そして、これからもふるさとの方言を大切にするとともに、ふるさとのよさを発信して、たくさんの人と仲良くなっていきたいです。



ロビーコンサート



雪浦ウィーク



方言劇



いつも議会だよりを楽しみにしています。知らないことがいっぱいあるので勉強になります。

(西海町 70代)

ふるさとに帰った時に、時々読んでいます。が西海市の課題、その解決に向けた努力がよくわかります。いつか戻る予定ですが、その時にどのように変わっているか楽しみです。

(福岡県久留米市 60代)



いつもお便りありがとうございます。引き続き、わかりやすいお知らせを望みます。よろしくお願いします。

(大瀬戸町 50代)

西海市に引越してきて3か月になります。

議会だよりを読んで、市の問題点等を知ることが出来ます。今後継続して読み、市のことをたくさん知りたいと思います。

(大島町 30代)

一見難しい内容で敬遠しがちだが、色使いやイラストの工夫で読みやすく感じます。移住・定住のこと、入浴施設のこと等興味深い内容があり学びがありました。来月以降も読ませていただきます。

(西彼町 30代)

若い人が集まりやすいイベントを開いてほしい。このままでは出会いがなく、一生独身の人が増えると思います。また、トイレの掃除をもっときれいにしてほしい。あと石けんもつけてほしい。

(崎戸町 20代)



市政のことがよくわかり毎号楽しみにしています。

(大島町 50代)

いつも議会広報誌が届くのを楽しみにしています。西海市をよりよく住みやすい場所にしようというんことが検討され考えてくれているんだなとうれしく思っています。

(大島町 30代)

市議会の様子がよくわかり、毎回楽しみにしています。質疑と答弁がわかりやすく掲載されており読みやすいのでありがたいです。私が子育て中だということもありますが、子育て世代の住みやすい町になるとより町が活性化するのはないかと思えます。これからもよろしくお願いします。

(大島町 30代)



郵便はがき

8572392

郵送される場合は63円切手を貼って下さい。

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸檜浦郷2222番地

西海市役所 議会事務局
「議会広報広聴委員会」行

(議会だより第73号)

ご意見・ご要望
いただいた皆様、
ご協力ありがとうございました！





第29回西海市議会クイズ

(1) 市政一般質問を行った議員は何人？

- ① 5人
② 6人
③ 7人

(2) 令和6年第1回市議会定例会の会期は何日間？

- ① 20日間
② 21日間
③ 23日間

(3) 産業建設常任委員会で訪れた地域住民が主体となった課題解決型観光事業の取組について「の視察場所は？」

- ① 広島県庄原市
② 山梨県小菅村
③ 神奈川県大井町

(4) 議員定数等調査特別委員会が決定された議員定数は？

- ① 15名
② 16名
③ 18名

応募方法

はがき、FAX、メール、入力フォームにて、住所・氏名・年齢・クイズの答えを明記してご応募ください。

※はがきはお近くの総合支所又は市役所本庁議会事務局へ提出いただけます。

応募先

〒857-2392
長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2222番地

〈FAX〉

0959-3710226まで

〈メール〉

rikai@city.sakai.jp

〈入力フォーム〉スマートフォンなどでQRコードを読み取ると入力フォームが開き、応募ができます。



締切

令和6年6月7日(金)消印有効(7日支所提出分まで有効)

特典

全問正解者の中から抽選で3名の方に、**QUOカード(1000円分)**をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※落選通知は送付しませんので、ご了承ください。

〔個人情報取扱について〕

ご記入いただきました個人情報、商品発送などの目的以外には利用いたしません。

第28回西海市議会クイズ解答

- (1)③ (3)②
(2)③ (4)③

応募総数14名(正解者8名)

編集後記

新年度を迎えて
新年度を迎えて、寒さから解き放たれて、心が晴れ晴れとした気持ちで眺める桜の季節から、目に眩しい新緑の季節へと移り変わって行く。この季節、人々は新たな気持ちで、それぞれの新たな場所へ希望を胸に移って行く。
先日、佐世保市の歌人の歌集を読んで、「美しい日本語と『言葉』が秘めた無限の可能性を再認識させられた」と書かれた新聞記事を目にした。そこには、「言葉」は凶器にもなれば、傷を癒す薬にもなる」とあった。私たちが職場や友人との会話の中でも、様々な「言葉」を発して生活をしている。「言葉」ひとつで人間関係が変わったり、広くは世界情勢も変わったりする。記事には「言葉」は人を元気づける時代であった欲しいという願望もあり、私もそう思った。私たちが生活をしていく中で、色んな「言葉」に出会う。その「言葉」の意味を考え、少し思考視点を変えて、明るく人付き合い、まっすぐに生かせることを考えながら、新年度を過ごして行きたい。
(打田 清委員)



議会広報広聴委員会

第29回西海市議会クイズ回答

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

郵便番号 〒

住所 市 町 郷 番地

ふりがな
氏名

年齢 歳

議会だよりについての感想またはご意見・ご要望

今後いただいた感想、ご意見は匿名で掲載させていただく場合があります。



議会
だより

No.73

令和6年
5月7日発行

発行責任者◎西海市議会議長
編集◎議会広報広聴委員会

〒857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸樫浦郷2222
TEL.0959-37-0075



この「西海市議会だより」は環境に配慮し再生紙と、揮発性有機化学物(VOC)の発生を低減できる植物油インキを使用しています。